

令和4年度 第2回 浜松市立江南中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年9月22日（木） 14時25分から15時25分まで
 - 2 開催場所 浜松市立江南中学校 会議室
 - 3 出席委員 鈴木 美佐男、池田 澄子、小澤 和男、塚越 勲、中西 正武
 - 4 欠席委員 齊藤 綾子、井村 元子、鈴木 あかり
 - 5 オブザーバー 吉田 久記（五島協働センター）
 - 6 学 校 御手洗 実（校長）、小林 貴道（教頭）、柴久喜 豪亮（教務主任）
川上 恭子（CSディレクター）
 - 7 浜松市教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
 - 8 傍聴者 なし
 - 9 協議事項
- (1) 教育課程と地域人材による支援案について
 - (2) 学校評価アンケート（前期）について
- 10 会議録作成者 CSディレクター 川上 恭子
 - 11 会議記録

司会の小林から、委員総数8人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 教育課程と地域人材による支援案について

水門工事の見学を検討し、市担当者に連絡をしたところ歓迎してもらったことを報告。

ビーチバレー場の建設地、他の市の施設や産業・農業・生物でも特徴もあり、社会問題も上げていただき、学ぶ材料があふれている。それを生かして子供たちをどんどん社会に出して地域とともに学ばせたい。

地域人材による支援案についてだが、学校と地域の橋渡しをしていただける学校支援コーディネーターを是非ご紹介いただきたい。

- ・五島地域の歴史で考えると「五島歴史クラブ（メンバーは10名程度）」に適任の方がいる。
- ・ジェームスペントン号の歴史を知るには、お礼に送られたグラスが現存している。
- ・言い伝えられている昔話を聞きに行って、絵本にする取り組みもあった。（以上、鈴木委員）
- ・子供の数自体下減っている中で、中学校の自由選択になっている点を心配している。
例えば地域のボランティアやイベントにどんどん参加してもらって、地域の良さを知ってもらえるといい。
- ・まずは、若い世代の保護者たちから自分たちの子供にどんなことをさせたいか意見を出してもらってはどうか。（塚越委員）
- ・地域とからめての教育をするのであれば、行政が学区をきちんと守らせるべきだと思う。（鈴木委員）

(2) 学校評価アンケート（前期）について―柴久喜

今回のアンケートは、生徒は各自支給されたタブレットを活用し、保護者については浜松市が導入しているさくら連絡網を活用した。

「授業が分かる、授業でもっと知りたい」が目標を超えたのもタブレットを積極的に使った効果の表れと評価している。職員室では日々若い教諭が遅くまで保護者と子供の様子について話をしている。一方で働き方改革の点では諸問題もある。

- ・生徒はタブレットを使いこなしているのか？（鈴木委員）
→今の子どもたちだと思う。ただスマホに慣れているせいか、キーボード入力に戸惑う姿もある。
（柴久喜）
- ・アンケートだけを見ると外国人が多いことは関係ないように思う。（鈴木委員）
- ・タブレットに頼ってばかりだと、漢字を読めても書けなくなるのではないか。（塚本委員）
- ・先生たちは教えることに徹し、他のことは事務の人員を増やして任せるべき。（塚本委員）
→校務アシスタントが配置されていることを説明。（御手洗）

その他報告事項等

朝日中高生新聞 P19 に江南中学校が掲載されたことを報告。

司会から次回会議は、2023年2月3日（金）午後1：30～、2年生の立志式を見学。

その後、江南中学校会議室にて開催する旨の報告。